

フレンドリーシップで三豊市訪問 うどん作りなどを体験

当町と友好都市提携を結んでいる香川県三豊市を訪問する「ふるさと・ふれあいフレンドリーツアー」が、今年も11月21日から2泊3日の日程で実施され、とうや小学校6年生6人が、うどん作りや陶芸体験などで地元小学生らと交流を深めました。

同ツアーは、旧洞爺村から合併後も続けられており、今年で16年目。7月には、三豊市から小学生が訪れ、ジャガイモ堀やカヌーなどで親睦を深めました。

21日は、地元小学生とうどん作りに挑戦し、慣れない手付きながら何とか讃岐うどん独特のコシのある麺を仕上げ、大満足の様子でした。



うどん作りを体験する小学生たち

22日には、ミカン狩りや金毘羅宮の参拝など行い、楽しい思い出となりました。

まちづくりについて要望を聞く町政懇談会が、11月30日から12月11日まで町内8カ所で開催され、町全体の問題から地域の問題まで幅広い意見が出されました。

12月2日は、香川、大原、富岡の各自治会を対象に、農業研修センターとれたで15人が参加して実施されました。

懇談会は、長崎町長の挨拶の後、佐藤安弘富岡自治会長の進行で行われ、参加者からは、特に財政健全化計画について、「強い意志を持って計画を実行して欲しい」「公共料金など上がれば人口がより流出するのでは...」など多くの意見がだされました。その他洞爺高校の存続問題や道路整備、除雪問題など身近なところからの意見もありました。



活発な意見が出された町政懇談会

財政健全化計画を説明 各地区で懇談会開催

洞爺青年会議所（J C、斉藤誠理事長）の創立35周年の記念事業として、12月12日母と子の館で野球教室が開催され、室蘭や八雲など近



基本技術を学んだ野球教室

隣の市町村から野球少年団やリトルリーグの選手ら約110人参加しました。

指導したのは、北海道日本ハムOBで元投手の白井康勝さんと野手の森範行さん。

キャッチボールの仕方などの基本を中心に指導し、その後バッテリー組みと野手組みに分かれて、腕の振り方や腰の使い方、ゴロの処理などプロの技を伝授しました。

夜には、洞爺湖文化センターでトークショー「元日本ハムファイターズ選手が語る」が行われ、二人から野球に取り組む姿勢について学びました。

洞爺 J C 創立35周年記念事業 日ハム B の野球教室開く

イルミネーションで町活性化 J R 洞爺駅・とうや水の駅で点灯

町の活性化を狙い12月14日 J R 洞爺駅前に、イルミネーションのアーチが初お目見えし、利用客の目を釘づけにしています。



J R 洞爺駅前のイルミネーションアーチ

町と商工会が実施したもので、静岡県

御殿場市のリゾート会社「時の栖^{すみか}」から寄贈された電飾約5,000個が、駅前の階段に飾り付けられ、駅前通りにも高さ約5メートルのツリーが設置されました。

18日には、とうや水の駅でも同社から提供を受けた電飾約2,000個を使って、高さ約5・4メートルのイルミネーションを点灯。幻想的な光が、住民や観光客の目を引いています。

点灯は、J R 洞爺駅が2月14日までの午後5時から8時。水の駅は1月17日までの午後5時から8時。

まちのわだい

